

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

L
【率いる】
Leading

来年は創業100年
変革と挑戦は続く



帝人
代表取締役
社長執行役員 CEO

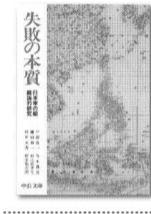
すずきじゅん
鈴木 純 さん

1958年東京都生まれ。83年東京大学院理学系研究科修了。同年帝人入社。中央研究所、英国の帝人MRC研究所、帝人ファーマ医薬医療企画部長、帝人グループ駐欧洲総代表などを経て、2013年取締役常務執行役員。14年4月から現職。

鈴木 純さんのおすすめ本棚



『利己的な遺伝子』
増補新装版
(紀伊國屋書店) リチャード・ドーキンス著
日高敏隆・岸由二・羽田節子・垂水雄二・訳



『失敗の本質 日本軍の組織論的研究』
(中公文庫) 戸越良一・寺本義也・鎌田伸一・
杉之尾孝生・村井友秀・野中郁次郎著



『中空構造日本の深層』
(中公文庫) 河合隼雄著



『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』
(文春新書) 原丈人著



『プリズンホテル』全4巻
(集英社文庫) 浅田次郎著

日本人のリーダー像

専門の生物学から
リベラルアーツまで
好きな本は数々あります。学生時代に愛読した筒井康隆さんの作品を始め、「坂の上の雲」(文春文庫)「アルジャーノンに花束を」(ハヤカワ文庫N・V)「バラサイト・イヴ」(新潮文庫)「セーラー服とエフエル塔」(文春文庫)「サクリファ

イス」(新潮文庫)「七匹の蛾が鳴く」(文庫)など寄生(幻冬舎新書)……。きっと浮かんだけでも硬軟様々。趣味のサッカーに関する本も随分読んでいます。大学は理学部で学びました。私は虫が好きだったので、昆虫研究の第一人者、日高敏隆先生の著書を読みあさりました。大学院ではメタカ研究で知られる江上信雄先生に師事し、ミニズを研究材料

異国で偏りに気づき、読んで補う

「だけじゃない。ティジン」。この帝人のキャラクターフレーズには、「製品やサービスを提供しているだけじゃない。未来の社会に向けて価値を提供していく」という思いが込められている。帝人グループを統べる鈴木純さんは、研究者出身のリーダー。その読書歴は幅広く、専門分野だけじゃない。

わせてもらったのですが、本書と信長・秀吉・家康が詠んだホトトギスの句を題材にして、日本企業の特長をプレゼンテー

ションしました。

論旨は「日本では社会情勢によつてリーダーの条件

が変わる。有事に

は信長タイプの

雄さんなど、著者が本人が講師を務め、

議論することもありました。「失敗の本

は絶好的の機会でした。課題図書は數十冊

に及び、「失敗の本質」の野中郁次郎さ

んや、「中空構造日本の深層」の河合隼

雄さんなど、著者が本人が講師を務め、

関する本も随分読んでいます。

大学は理学部で学びました。私は虫が

好きだったので、昆虫研究の第一人者、

日高敏隆先生の著書を読みあさりまし

た。大学院ではメタカ研究で知られる江

上信雄先生に師事し、ミニズを研究材料

として性分化を研究しました。当時の私

が描いていた将来像は、日高先生や江上

先生のように好きなことを極める研究人

生。興味の先は、時代的に注目され始め

ていた遺伝子研究でした。日高先生が翻

訳に携わった「利己的な遺伝子」を読ん

だのも、この頃。「生物は種の保存のた

めに行動する」というダーウィン説に對

して、著者のドーキンスは「生物は遺伝

子の保存のために行動する」という視点

で生物の成り立ちを説き明かしていました。

生物学者のドーキンスが語る遺伝子

のメカニズムや動物の行動原理には説得

力があり、ストーリー性も抜群でした。

バイオ技術を駆使できる環境を求め、

帝人の医療研究開発職に就きました。入

社10年目には大阪大学医学部で1年間学

ばせてもらい、その後3年間は脳神経系

の責任者として英國の帝人MRC研究所

に勤務。マネジメントに近づく2つの契機

は、40代後半で派遣された多摩大学のビ

ジネスリーダー育成講座(現・不識塾)で

した。哲学、歴史、文化、宗教、倫理など

リベラルアーツ教育を通して真のグローバル経営者を育成するプログラムで、10カ月間にわたりほぼ毎週末いました。

実際、イギリス駐在時、外国人との歴史や文化を説明できない自分に気がつきました。知識も読書も関心事に偏っていましたですね。ですから多摩大の講座

に勤務。マネジメントに近づく2つの契機

は、40代後半で派遣された多摩大学のビ

ジネスリーダー育成講座(現・不識塾)で

した。哲学、歴史、文化、宗教、倫理など

リベラルアーツ教育を通して真のグローバル経営者を育成するプログラムで、10カ月間にわたりほぼ毎週末いました。

実際、イギリス駐在時、外国人との歴史や文化を説明できない自分に気がつきました。知識も読書も関心事に偏っていましたですね。ですから多摩大の講座